

# Kansai Economic Insight Monthly

2014/5/22

Vol.13 April/May

・APIR “Kansai Economic Insight Monthly” は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・レポート公開時期は毎月第二週金曜日を予定しています。

・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 研究統括）、岡野光洋・林万平・木下祐輔（各 APIR 研究員）です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

## 目次

要旨	1
景気の現況	2
中国景気モニター	8
主要月次統計	11
Release Calendar	12

## 要旨

- ✓ 駆け込み需要による増産が期待されたが、関西の3月鉱工業生産は前月比-0.6%と2カ月連続の下落となった。1-3月平均は10-12月平均比+2.0%と緩やかな回復にとどまった。結果、13年度は対前年比+2.7%と2年ぶりの上昇。
- ✓ 4月の関西の輸出額の伸びは前月から微増となった。一方、輸入は駆け込み需要の反動減から伸びは前月から大幅減。結果、貿易収支は2カ月連続の赤字も、赤字幅は大きく縮小した。
- ✓ 関西の4月景気ウォッチャー現状判断DIは、駆け込み需要の反動減から11年3月以来の大幅悪化となったが、先行き判断DIは5カ月ぶりに改善した。また同月の消費者態度指数は5カ月ぶりに前月比小幅改善した。
- ✓ 2月の「関西コア」賃金指数は11カ月連続の前年比マイナス。一方3月の全国の現金給与総額は3カ月ぶりの同プラス。
- ✓ 関西の3月大型小売店販売額は8カ月連続の前年比プラス。百貨店も8カ月連続のプラス。駆け込み需要の影響が顕著。
- ✓ 関西の3月新設住宅着工戸数は2カ月ぶりの前年比プラス。貸家と分譲マンションの好調が改善に寄与した。
- ✓ 関西の3月有効求人倍率は1.00倍と前月比横ばい、失業率も前月比横ばいを維持。雇用環境は改善が続いている。
- ✓ 関西の3月建設工事は前年比23カ月連続のプラス。伸びは依然2桁だが4カ月連続で減速。13年度関西の建設工事は前年比で2年連続のプラスとなり、伸び率は前年度から加速した。
- ✓ 4月関西の公共工事請負金額は前年比2カ月連続のプラス。季節調整値では、4カ月ぶりの前月比大幅プラスとなった。
- ✓ 4月の製造業PMIは、2カ月連続で緩やかに回復している。うち、生産指数は50を上回っているが前月から幾分減速し、輸出新規受注指数は大幅に低下し2カ月ぶりに50を下回った。

【関西経済のトレンド】

	2013年												2014年			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月				
生産	↗	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↘					
貿易	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↘	↗	↘	↗				
センチメント	↗	↘	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↘	↘	↘	↘				
消費	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗					
住宅	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗					
雇用	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗					
公共工事	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↘	↘	↗				
中国	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗		↗	↗				

【鉱工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

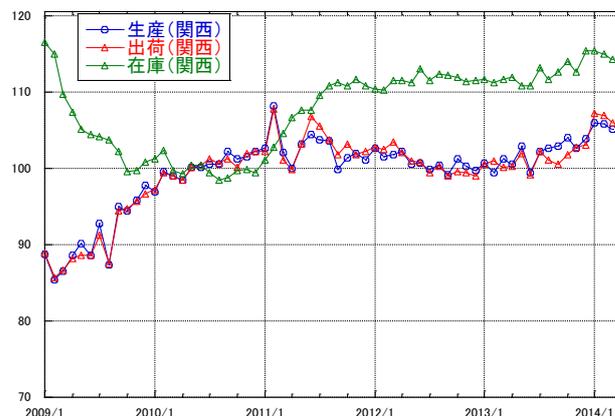
3月の鉱工業指数（速報値：季節調整済）を見ると、生産は105.2で前月比-0.6%、出荷は106.0で同-0.9%、在庫は114.3で同-0.6%、といずれも2カ月連続の下落。3月は生産、出荷、在庫指数がいずれも減少となった。

業種別に生産指数をみると、金属製品(同-8.0%)、電気機械(同-2.4%)、輸送機械(除 航空機・鋼船・鉄道車両)(同-2.6%)等が低下した。一方、情報通信機械(同+14.1%)、はん用・生産用・業務用機械(同+0.8%)、その他工業(同+3.6%)等が上昇した。

足下、関西の生産は減少となったものの、1-3月期平均では対前期比+2.0%と6期連続の増産だが、2月3月と2カ月連続で低下したため、1-3月期の伸び率は緩やかな上昇にとどまった。結果、2013年度は対前年比で+2.7%と2年ぶりに生産が増加した。全国製造工業生産予測調査では4月は低下が予想され、5月も小幅の上昇にとどまっている。1-3月

期の関西の生産は全国に比して緩やかな回復にとどまっておろ、消費増税後の反動が懸念される。

鉱工業指数の推移(関西：2014年3月まで、平成22年=100)

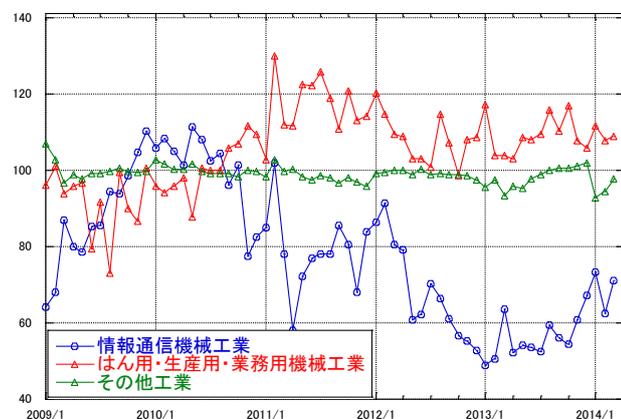


(注) 福井県を含む。

(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

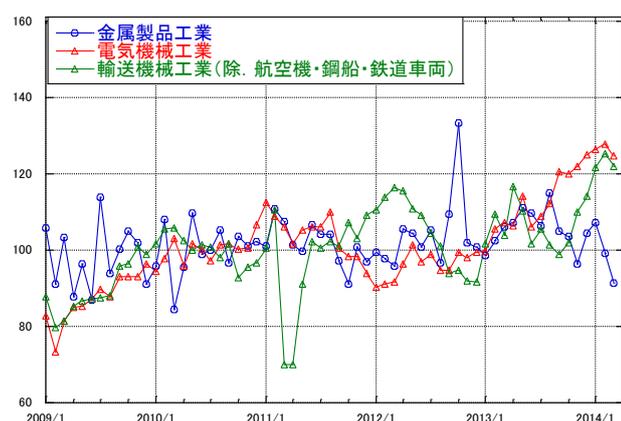
業種別生産指数の推移(関西：2014年3月まで、平成22年=100)

(注) 福井県を含む。



(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

業種別生産指数の推移(続き)



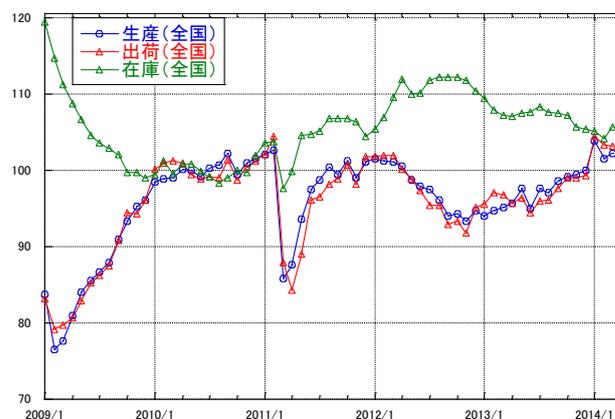
## (2) 全国の生産動向

全国における3月の鉱工業生産指数(確報値、季節調整済)は102.2となり前月比+0.7%と2カ月ぶりの上昇。出荷は103.2で同-0.2%と2カ月連続の下落。在庫は105.7で同+1.4%と8カ月ぶりのプラスとなった。

業種別にみると、輸送機械(同+2.9%)、電子部品・デバイス(同+5.5%)、窯業・土石製品(同+3.3%)等を中心に増産となった。一方、化学(同-2.0%)、はん用・生産用・業務用機械(同-0.5%)、情報通信機械(同-1.4%)等は減産。

全国の生産は、1-3月期平均比で対前期比+2.9%と5期連続の増産であり、駆け込み需要の影響もあり、伸びは加速した。結果、2013年度は対前年比+3.2%と3年ぶりの増産であった。

鉱工業指数の推移(全国：2014年3月まで、平成22年=100)



(出所) 「鉱工業指数」、経済産業省

## 【貿易動向】

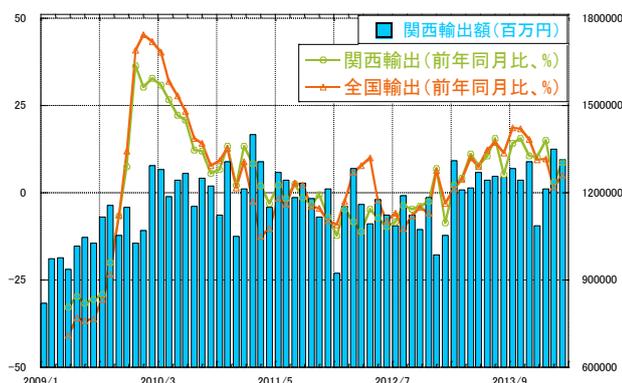
### (1) 輸出

近畿圏における4月の輸出額(速報値)は1兆3,141億円、前年同月比+8.7%と14カ月連続の増加。輸出増加に主に貢献したのは、鉱物性燃料(単月過去最高)、科学光学機器(単月過去最高)、プラスチックであった。輸出の伸びは前月(+3.1%)から幾分回復したものの、税関長公示レートによる為替レートが前年同月比+6.7%の円安であることを考えれば、微増にとどまっている。

地域別では、アジア向け輸出は14カ月連続のプラス(前年同月比+6.1%)。うち、中国向けは2カ月ぶりのプラス(同+7.9%)となった。米国向けは2カ月ぶりのプラス(同+12.5%)、EU向けは11カ月連続のプラス(同+4.5%)であった。

地域別輸出額(前年同月比)を品目別に見ると、寄与度ベースでは、アジア向けでは中国向けを中心に鉱物性燃料が伸び(前年比+58.1%)、また科学光学機器(同+18.1%)等が輸出増に貢献した。米国向けでは、有機化合物(同+50.9%)、電池(同+34.7%)等の輸出が増加。また、EU向けでは、プラスチック(同+77.0%)、建設用・鉱山用機械(同+39.6%)等が輸出増に貢献した。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2014年4月まで)



(出所)「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

全国4月の輸出額(速報値)は6兆692億円、前年同月比+5.1%と14カ月連続の増加。伸び率は前月(同+1.8%)から回復した。輸出増には、自動車、科学光学機器、プラスチック等が貢献した。関西、全国共に輸出は増加、伸びは前月から微増となった。

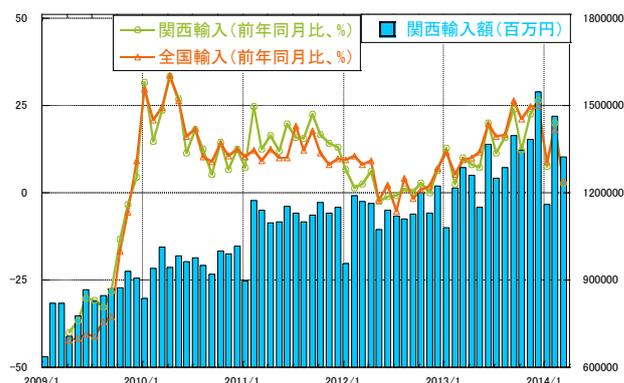
## (2) 輸入

近畿圏における4月の輸入額(速報値)は1兆3,221億円、前年同月比+2.7%と16カ月連続のプラス。天然ガス及び製造ガス(単月過去最高)、半導体等電子部品(単月過去最高)、鉄鋼等を中心に、輸入は増加しているものの、消費増税前の駆け込み需要の反動により、衣類及び同付属品、石油製品、原油及び粗油等の輸入が大幅減したこともあり、輸入の伸びは大幅に減速した。

地域別では、アジアからの輸入は16カ月連続で増加(前年同月比+2.5%)、うち中国からの輸入は2カ月連続のプラス(同+1.9%)だが、伸びは前月から大幅減速。一方、米国(同-7.7%)、EU(同-1.6%)からの輸入は、それぞれ8カ月ぶり及び5カ月ぶりに減少した。

地域別輸入額(前年同月比)を品目別に見ると、中国を中心にアジアからは半導体等電子部品(同+30.0%)、鉄鋼(同+41.0%)等が大きく伸びた。米国からは、無機化合物(同+87.5%)、肉類及び同調整品(同+15.6%)等、EUからは、肉類及び同調整品(同+39.7%)、科学光学機器(同+27.8%)等の輸入が増加した。

輸入(右、100万円)・前年同月比(左、%)推移(2014年4月まで)



(出所)「財務省貿易統計」、財務省

全国の4月の輸入額(速報値)は6兆8,781億円、前年同月比+3.4%と18カ月連続の増加となったが、伸びは前月(+18.1%)より大幅減速。輸入増加には、液化天然ガス、半導体等電子部品、鉄鉱石等が大きく寄与したものの、原油等は減少となった。関西、全国共に輸入は増加したものの、消費増税の反動減により、伸びは前月から大幅に減速した。

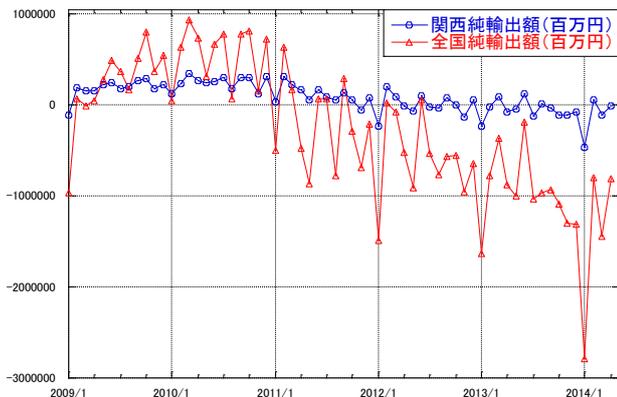
## (3) 純輸出

結果、近畿圏4月の貿易収支は81億円と2カ月連続の赤字(前年同月比-89.7%)となったが、赤字幅は前月から大幅縮小した。

地域別に見ると、対アジア貿易収支は3カ月連続の黒字となった(前年同月比+34.4%)。対中貿易は26カ月連続の赤字だが、赤字幅は2カ月ぶりに縮小(同-10.1%)した。対米貿易は黒字基調が続いているが、黒字幅は2カ月ぶりの増加(同+48.7%)。対EU貿易は13カ月ぶりの黒字。

全国4月の貿易収支は-8,089億円と22カ月連続の赤字となったが、赤字幅は10カ月ぶりに縮小(前年同月比-7.8%)。貿易収支は、輸入の伸びが大幅減速したこともあり、関西、全国とも赤字幅は縮小した。

純輸出(百万円)推移(2014年4月まで)



(出所) 「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

### 【消費者センチメント】

#### (1) 消費者態度指数の動向

関西の4月の消費者態度指数(原数値)は前月比+0.2ポイントの37.1と、5カ月ぶりの小幅改善にとどまった。

消費者態度指数(2014年4月まで)



(出所) 内閣府 「消費動向調査」(平成26年4月15日公表)

同指数の構成項目をみると、「暮らし向き」は同+0.1ポイントと5カ月ぶりのプラス、「収入の増え方」は同+0.1と2カ月連続のプラスと小幅の改善となった。なお「耐久消費財の買い判断」は同+1.6と7カ月ぶりにプラスに転じたが、消費増税の影響と考えられる。一方、「雇用環境」は高水準を維持しているものの同-0.8ポイントと3カ月連続のマイナスを記録した。

全国の4月の消費者態度指数(季節調整値)は37.0となり、同-0.5ポイントと5カ月連続で前月から悪化している。

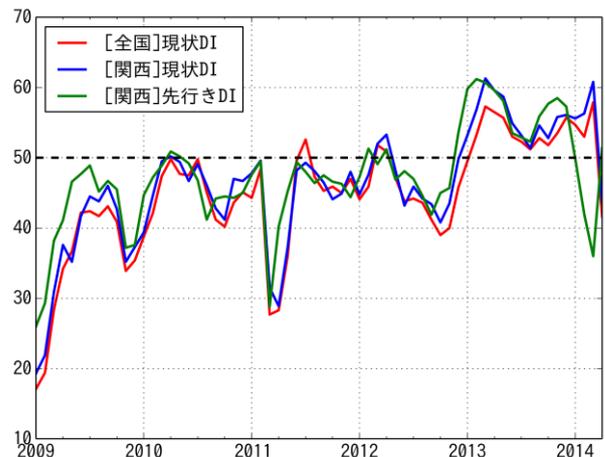
#### (2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の4月の現状判断DIは43.6となり、前月比-17.2ポイントと3カ月ぶりに悪化に転じた。百貨店や自動車販売、家電量販店を中心に駆け込み需要の反動減が大きく、2011年3月以来の大幅悪化につながった。全国も同-16.3ポイントの41.6と2カ月ぶりの悪化。

一方関西の先行き判断DIは同+15.4ポイントの51.4と5カ月ぶりに改善した。百貨店など消費財関連では明るい見通しとなっている一方で、家電量販店など非耐久財では比較的厳しいようである。

なお全国も同+15.6ポイントの50.3となり、5カ月ぶりに改善している。

景気ウォッチャー調査(2014年4月まで)



(出所) 内閣府(平成26年5月12日公表)

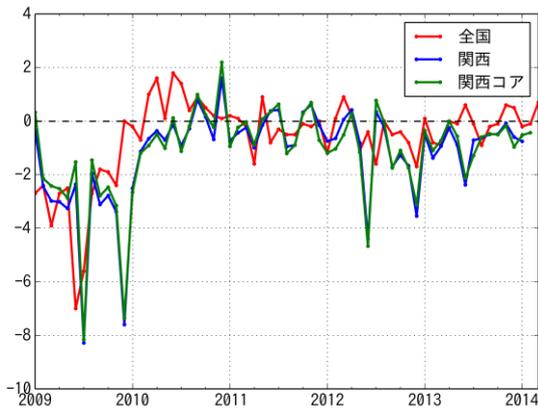
### 【所得・個人消費・住宅】

#### (1) 現金給与総額

1月の関西2府4県現金給与総額(APIR推計)は25万9,955円と前年同月比-0.8%減少した。19カ月連続のマイナス。京都(同+1.1%)を除く1府4県で減少した。また京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR推計)は1月に同-0.5%、2月に同-0.4%と11カ月連続の下落となった。一方全国では、3月には同+0.7%と3カ月ぶりのプラスとなった(確報値)。関西の現状は全国に比して低

調が続いているが、4月以降の賃金の上昇が期待されるところである。

現金給与総額(前年同月比：%、2013年3月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

(出所)：厚生労働省「毎月勤労統計調査」(5月16日公表)

## (2) 大型小売店販売額

関西の3月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+19.3%と8カ月連続のプラス。百貨店も同+28.5%と8カ月連続のプラス。スーパーは同+12.9%と2カ月連続のプラス。なお全国でも、3月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+17.0%と7カ月連続のプラスとなっている。

大型小売店販売額(前年同月比：%、2014年3月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 経済産業省「商業動態統計」(平成26年4月28日公表)

関西、全国ともに、3月の小売販売は百貨店を中心に駆け込み需要の影響が顕著に表れている。

## (3) 新設住宅着工の動向

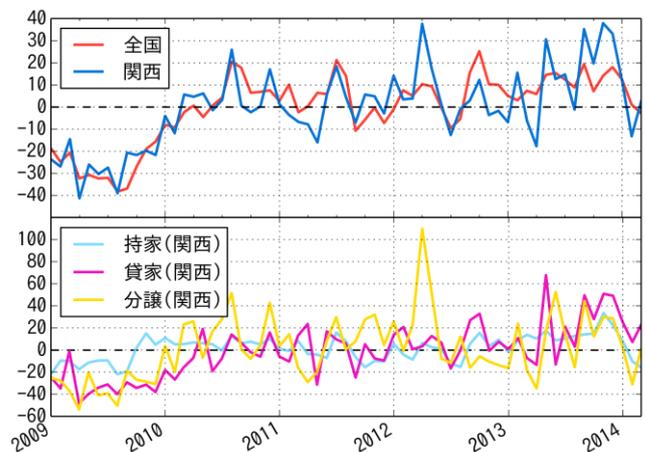
関西の3月の新設住宅着工戸数は11,170戸。前年同月比+2.5%と2カ月ぶりに上昇した。持家や分譲一戸建てを中心に駆け込み需要の反動減が本格化しているものの、貸家と分譲マンションの好調に支えられ、全体としては続落を回避した。

利用関係別にみると、持家は同-15.7%と2カ月連続のマイナス、分譲は同+1.4%と2カ月ぶりに小幅改善(うちマンション：同+15.3%、一戸建：同-12.0%)。貸家は同+22.9%と8カ月連続の増加となった。

一方、全国の新設住宅着工戸数は同-2.9%と2012年8月以来19カ月ぶりに下落に転じた。

なお4月の関西マンション契約率は73.0%(季節調整値、APIR推計)となった。好不調の目安となる70%を31カ月連続(原数値は3カ月連続)で上回り、好調を維持している。

新設住宅着工(前年同月比：%、2014年3月まで)



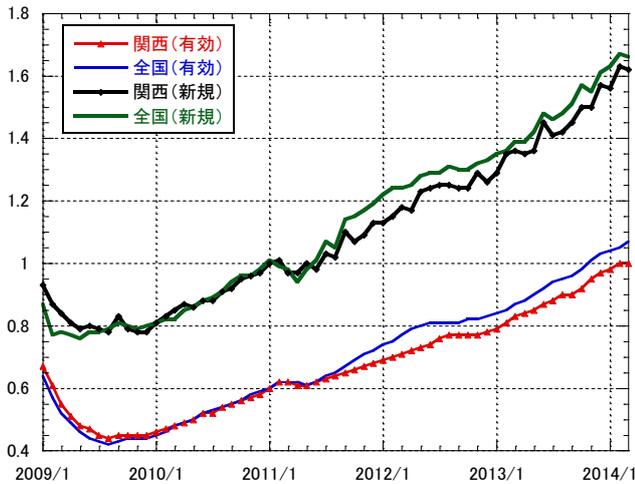
(出所)：国土交通省「住宅着工統計」(平成26年4月30日公表)

## 【雇用動向】

### (1) 求人倍率の動向

3月の関西の有効求人倍率は1.00倍、前月比横ばいとなっており、雇用環境は改善が続いている。全国は1.07倍で、前月から0.02ポイント上昇。2011年5月から上昇トレンドにある。

有効求人倍率の推移 (季節調整値、2014年3月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況 (平成 26 年 5 月 2 日発表)

関西 2 府 4 県有効求人倍率(2014 年 3 月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
3月	1.07	1.00	0.93	0.99	1.11	0.85	0.88	0.98
2月	1.05	1.00	0.94	0.98	1.10	0.86	0.93	0.94

3月の新規求人倍率は、関西は1.62倍と前月より0.01ポイント悪化。産業別では、製造業関連(自動車・建築用部材)の人手不足感から求人が増加し、6カ月連続のプラス。一方、大型商業施設の開業があった小売業や飲食業では前月比マイナス。全国は1.66倍と同0.01ポイントの悪化となった。

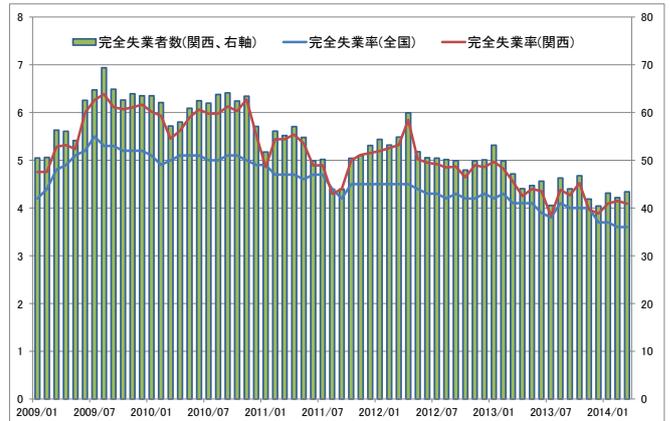
関西の有効求人倍率を府県別にみると、大阪府は1.11となり、先月に引き続き全国平均を上回った。その他の府県は全国平均を下回った。

## (2) 完全失業率の推移

3月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR推計)は4.1%となり、前月比で横ばいを維持。全国の完全失業率(季節調整値)は3.6%となり、前月比横ばい。

関西の完全失業者数(季節調整値:APIR推計)は43.4万人。前月から1.2万人増加した。

完全失業率の推移 (季節調整値 : %, 2014年3月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」(平成 26 年 5 月 2 日発表)

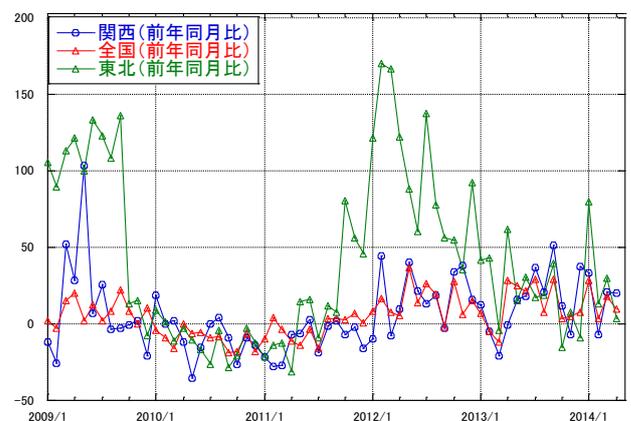
## 【公共投資】

### (1) 公共工事請負金額

2014年4月の関西の公共工事請負金額は1,870億円。前年同月比+20.3%と2カ月連続のプラス。全国は1兆7,583億円と同+10%、13カ月連続のプラス。東北は3,721億円と同+3.5%と、41カ月連続のプラス。関西は前月の伸びを維持しているが、全国、東北の伸びはいずれも前月から低下した。

季節調整値(APIR推計)で見ると、関西は4カ月ぶりの前月比大幅プラス(関西:同+46.4%)、全国も3カ月ぶりの同大幅プラス(全国:同+29.1%)であった。2014年度関西の公共工事受注額は順調なスタートであった。

公共工事請負金額(前年同月比 : %, 2014年4月まで)



(出所) 「公共工事前払金保証統計」、東日本建設業保証株式会社

(2) 建設工事

関西 3 月の建設工事は 5,679 億円。前年同月比+10.1%と 23 カ月連続のプラス。関西の伸び率は依然 2 桁を維持している。結果、足下の伸び率は 2013 年 11 月をピークに 4 カ月連続で減速したものの、2013 年度関西の建設工事は前年比 +11.7%と 2 年連続の増加であり、伸び率は前年度から加速した。

東北は 6,382 億円と同+21.0%と 32 カ月連続のプラス。全国の建設工事は同+10.9%増加し 4 兆 5,519 億円となり、26 カ月連続のプラスだが、伸びは 6 カ月連続で減速。ちなみに全国の公共工事は 2 兆 1,246 億円、同+13.8%と 26 カ月連続のプラスだが、6 カ月連続で伸びは減速。

足下、全国的に建設工事は減速感がみられるものの、2013 年度全国、全国（公共工事）は共に対前年比で 2 桁のプラスとなり、伸びは加速した。東北は同様にプラスであるが、伸び率は前年度から大幅に減速した。

建設工事(前年同月比：％、2014 年 3 月まで)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」

【中国景気モニター】

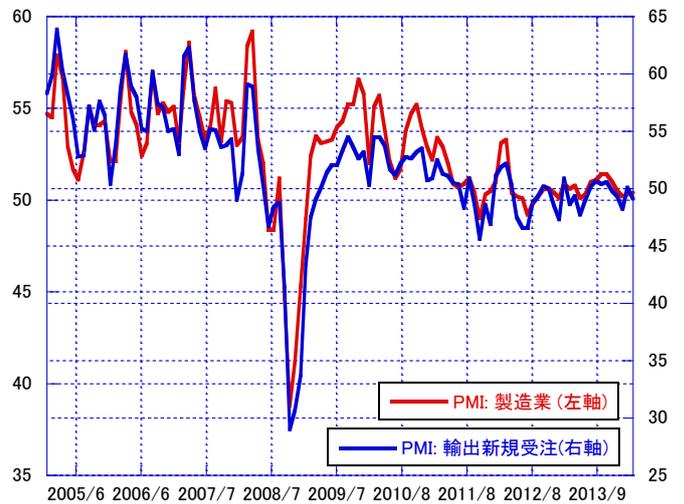
(1) センチメント

4 月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は、前月から+0.1 ポイント上昇し 50.4 となった。2 カ月連続のプラスで推移している。

うち、生産指数は 52.5 と同-0.2 ポイント低下し、幾分減速した。輸出新規受注指数は同-1.0 ポイント大幅に低下し 49.1

となり、2 カ月ぶりに 50 を下回った。新規受注指数は 51.2 となり、同+0.6 ポイント上昇した。2 カ月連続のプラス。同月の雇用指数は 48.3 となり、前月から横ばい。2012 年 6 月以来、23 カ月連続で 51 を下回った。

中国製造業購買担当者景況指数 (2014 年 4 月まで：％)

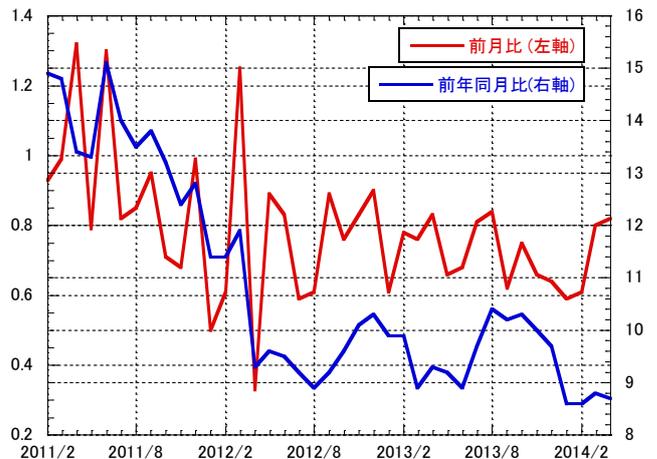


出所：中国国家统计局; CEIC データベース

(2) 工業生産

4 月の工業生産は、前月比+0.8%と 3 カ月連続で加速した。一方、前年同月比は+8.7%と前月(+8.8%)より幾分縮小し、3 カ月ぶりの減速となった。

工業生産指数(2014 年 4 月まで：％)



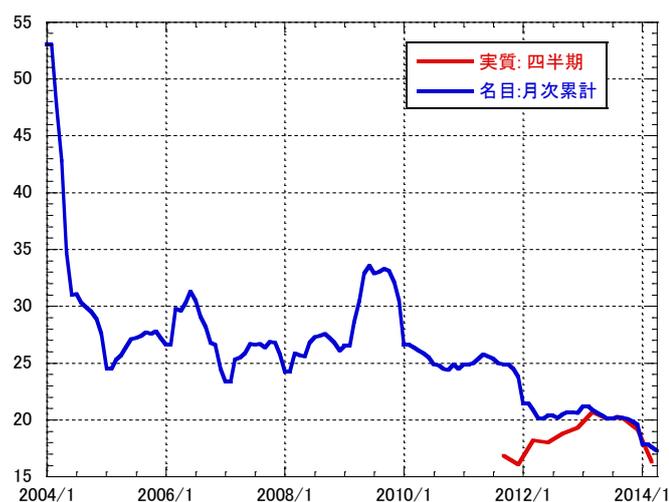
出所：中国国家统计局; CEIC データベース

産業別に見ると、有色金属の製錬・圧延加工業(前年同月比+14.1%)、医薬製品製造業(同+12.0%)、自動車製造業(同+11.5%)、パソコン・通信製造業(同+11.4%)が高い伸びを示す一方で、繊維工業(同+7.4%)、鉄鋼などの製錬・圧延加工業(同+7.2%)、電力・熱力生産・供給業(同+2.5%)は比較的低調な伸びにとどまった。

### (3) 固定資産投資

2014年1-4月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+17.3%となり、1-3月期(同+17.6%)から幾分減速した。昨年1-8月期(+20.3%)以降減速が続いている。産業別に見れば、第1次産業は同+21.2%、第2次産業は同+14.5%、第3次産業は同+19.2%となった。

固定資産投資 (2014年4月まで: %) (累積伸び率)

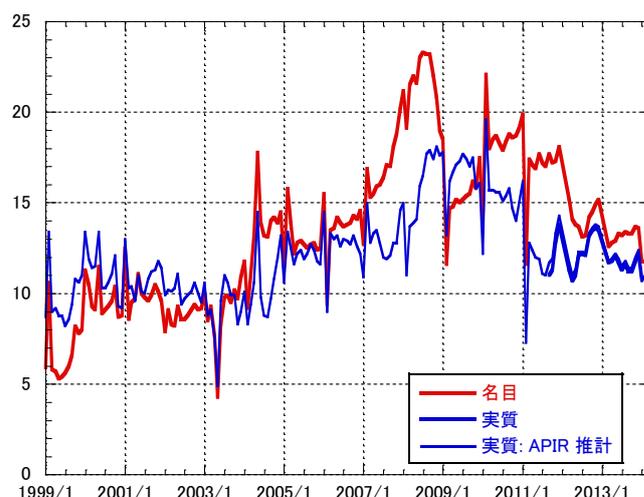


出所: 中国国家统计局; CEIC データベース

### (4) 消費

4月の社会消費品小売総額の名目成長率は前年同月比+11.9%となり、前月(同+12.2%)から幾分下落した。長期的に見れば、減速トレンドにある投資に比べて、消費は比較的好調であり、中国经济成長のエンジンになることを期待されている。

社会消費品小売総額 (2014年4月まで: %)



注: APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

出所: 中国国家统计局; CEIC データベース

### (5) 貿易動向

4月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比+0.9%増加し、2カ月ぶりのプラスとなった。一方、輸入額も同+0.9%(速報値)となり、前月(-11.3%)よりプラスに転じた。

日本との貿易 (前年同月比; 円ベース) (2014年4月まで: %)



出所: 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

うち日本への輸出額は同+2.6%と2カ月連続のプラスとなった。日本からの輸入額は同-1.2%と2カ月連続のマイナスとなったものの、下落幅は前月(同-9.9%)から大幅に縮小した。円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+7.7%と前月(同

+19.8%)から大幅に減速した。日本からの輸入額は同+3.7%と13ヵ月連続のプラスとなった。

#### (6) 労働市場動向

1-3月期の有効求人倍率は1.11となり、13年10-12月期(1.10)からやや上昇した。求人数は前期比+31.1%の増加、求職者数は同+29.1%の増加となった(102主要都市ベース)。

求人倍率を地域別に見ると、東部は1.08、中部は1.14、西部は1.17となっている。

職種別にみると、専門技術職(1.22)、商業とサービス業に従事する職(1.29)、農林牧漁水利の生産に従事する職(1.13)、生産運輸設備を操作する職(1.30)といった現場作業を中心とする職の求人が高い一方で、事務職(0.70)は低くなっている。

求人求職倍率 (2014年第1四半期まで)



出所：中国労働市場情報観測センター; CEIC データベース; APIR 計算

Contact: 岡野光洋・林万平・木下祐輔

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp)

【主要月次統計】

月次統計	13/02M	13/03M	13/04M	13/05M	13/06M	13/07M	13/08M	13/09M	13/10M	13/11M	13/12M	14/01M	14/02M	14/03M	14/04M
景況感															
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	56.8	61.3	59.6	58.7	54.9	53.2	51.4	54.6	52.8	55.8	56.1	55.6	56.3	60.8	43.6
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	56.3	62.6	59.6	58.8	55.0	52.0	48.8	53.0	50.4	54.6	54.1	53.7	53.4	60.1	40.4
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	61.2	60.7	59.6	58.1	53.5	52.9	52.3	55.9	57.7	58.5	57.3	49.9	42.0	36.0	51.4
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	53.2	57.3	56.5	55.7	53.0	52.3	51.2	52.8	51.8	53.5	55.7	54.7	53.0	57.9	41.6
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	51.7	56.9	55.5	54.4	52.2	50.6	49.3	50.6	49.2	51.3	53.1	52.2	50.2	57.0	37.2
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	57.7	57.5	57.8	56.2	53.6	53.6	51.2	54.2	54.5	54.8	54.7	49.0	40.0	34.7	50.3
消費者心理・小売り															
[関西]消費者態度指数(原数値)	43.0	43.9	43.9	46.0	44.5	43.3	43.4	45.2	40.6	41.0	40.3	39.9	37.6	36.8	37.1
[関西]暮らし向き(原数値)	42.4	42.0	40.8	43.5	42.8	41.5	40.8	42.4	38.1	38.7	37.6	37.2	34.7	34.1	34.2
[関西]収入の増え方(原数値)	40.2	40.7	40.2	42.7	41.3	40.4	40.3	41.2	37.6	38.4	38.0	37.3	36.5	37.0	37.1
[関西]雇用環境(原数値)	45.4	47.1	48.7	50.9	47.6	47.3	47.6	51.1	45.1	46.1	46.5	48.6	46.3	45.3	44.5
[関西]耐久消費財の買い時判断(原数値)	43.9	45.9	46.0	46.8	46.4	44.0	44.9	46.2	41.6	40.7	39.2	36.7	33.0	31.0	32.5
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	44.2	44.8	44.5	45.4	44.3	43.5	43.1	45.4	41.4	42.4	41.3	40.3	38.5	37.5	37.0
[全国]乗用車新規登録届出数(前年同月比)	-8.7	-13.8	4.7	-6.3	-10.6	-10.0	-0.5	14.0	17.9	16.2	24.6	28.2	20.8	20.4	UN
[関西]家電販売額(前年同月比)	-5.3	-3.2	-8.6	-0.5	12.6	-13.8	4.6	-5.1	3.3	6.1	-1.2	11.0	34.4	68.6	UN
[関西]大型小売店販売額(10億円)	277.3	316.7	297.4	303.7	317.2	333.5	303.7	289.4	305.0	329.6	415.9	333.3	286.5	377.8	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-2.7	4.5	-0.9	0.8	5.8	-0.4	1.2	2.7	1.0	1.1	1.0	1.1	3.3	19.3	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1423.9	1659.8	1550.9	1589.9	1639.5	1712.7	1582.3	1506.0	1586.0	1696.3	2139.8	1713.5	1468.6	1956.2	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-2.9	3.5	-1.0	0.9	4.5	-0.7	0.9	1.7	0.8	1.2	0.9	0.8	2.4	17.0	UN
住宅・建設															
[関西]新設住宅着工(戸数)	11063.0	10895.0	10626.0	12403.0	12215.0	12622.0	11537.0	13606.0	14873.0	13938.0	14737.0	11299.0	9592.0	11170.0	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比)	15.5	-6.2	-17.8	30.6	12.6	14.7	-1.2	35.2	19.7	37.9	33.1	11.7	-13.3	2.5	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	68989.0	71456.0	77894.0	79751.0	83704.0	84801.0	84343.0	88539.0	90226.0	91475.0	89578.0	77843.0	69689.0	69411.0	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比)	3.0	7.3	5.8	14.5	15.3	12.4	8.8	19.4	7.1	14.1	18.0	12.3	1.0	-2.9	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	80.3	81.5	78.4	78.4	76.8	83.2	79.6	83.1	78.3	79.2	71.7	72.1	80.6	75.9	73.0
[関西]マンション契約率(原数値)	77.1	83.6	79.8	82.3	80.7	87.0	81.1	80.5	79.6	76.0	69.9	65.2	77.4	77.8	74.3
[全国]マンション契約率(季節調整値)	77.6	77.6	75.8	77.3	78.2	81.9	84.7	83.5	82.4	79.4	75.0	84.2	81.8	75.4	72.5
[全国]マンション契約率(原数値)	76.4	82.1	78.2	78.1	81.6	81.6	81.5	83.5	79.6	79.6	76.1	78.6	80.6	79.8	74.8
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	90.7	130.5	178.2	143.2	150.6	146.6	119.1	167.5	135.7	111.2	112.6	94.3	78.9	132.2	187.0
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比)	-6.8	-14.1	4.2	16.0	17.8	37.2	20.8	51.4	12.2	-7.0	37.8	33.2	-6.8	20.8	20.3
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	670.8	1233.8	1599.1	1084.2	1386.8	1572.5	1226.7	1523.5	1420.5	941.6	886.0	777.6	695.9	1456.8	1758.3
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比)	-4.8	-11.7	28.6	24.8	21.7	29.4	7.9	29.4	3.5	4.9	7.5	28.8	3.7	18.1	10.0
[関西]建設工事(総合、10億円)	560.1	547.4	448.6	426.1	443.6	453.3	483.0	521.8	540.2	569.5	595.0	592.7	585.3	567.9	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比)	8.4	5.0	5.0	4.8	7.2	8.2	11.7	15.0	18.1	19.3	16.4	11.6	10.5	10.1	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4108.1	4106.2	3293.9	3312.3	3536.3	3721.3	3981.3	4319.8	4549.6	4779.7	4920.2	4672.1	4607.0	4551.9	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比)	6.0	6.3	7.9	10.3	14.2	16.5	16.1	16.2	18.1	17.9	16.9	14.3	12.1	10.9	UN
[関西]建設工事(公共工事、10億円)	1851.5	1867.1	1256.4	1189.8	1289.5	1397.5	1567.3	1811.8	1997.6	2171.5	2259.8	2111.5	2123.8	2124.6	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比)	8.6	8.3	11.3	12.9	19.3	25.8	24.3	26.7	25.6	24.2	20.9	15.7	14.7	13.8	UN
生産															
[関西]鉱工業生産(季節調整値、05年=100)	99.4	101.3	100.6	103.0	99.5	102.2	102.7	102.9	104.1	102.7	103.9	106.0	105.8	105.2	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-1.3	1.9	-0.7	2.4	-3.4	2.7	0.5	0.2	1.2	-1.3	1.2	2.0	-0.2	-0.6	UN
[関西]在庫指数(原数値、前年同月比)	-8.6	-4.3	-0.7	0.8	-2.8	3.9	-0.3	1.3	2.2	2.4	5.1	6.6	5.9	5.9	UN
[関西]在庫指数(原数値、前年同月比)	0.8	0.1	0.5	-0.3	-2.0	1.4	-0.6	0.4	1.9	1.2	3.5	3.4	3.4	2.3	UN
[関西]出荷指数(季節調整値、05年=100)	101.0	100.1	100.3	101.9	99.2	102.2	101.1	100.6	101.8	102.8	103.1	107.2	107.0	106.0	UN
[関西]出荷指数(季節調整値、前月比)	0.4	-0.9	0.2	1.6	-2.6	3.0	-1.1	-0.5	1.2	1.0	0.3	4.0	-0.2	-0.9	UN
[関西]在庫指数(季節調整値、05年=100)	111.2	111.7	112.0	110.9	110.9	113.2	111.7	112.6	114.1	112.7	115.5	115.5	115.0	114.3	UN
[関西]在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.4	0.4	0.3	-1.0	0.0	2.1	-1.3	0.8	1.3	-1.2	2.5	0.0	-0.4	-0.6	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	94.8	95.1	95.7	97.7	95.0	97.6	97.1	98.6	99.2	99.5	100.0	103.9	101.5	102.2	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.9	0.3	0.6	2.1	-2.8	2.7	-0.5	1.5	0.6	0.3	0.5	3.9	-2.3	0.7	UN
[全国]在庫指数(原数値、前年同月比)	-8.6	-5.7	-3.0	-2.2	-5.2	1.4	-1.4	4.6	6.3	6.6	6.4	9.3	6.5	6.5	UN
[全国]在庫指数(原数値、前年同月比)	0.5	-3.0	-4.2	-2.7	-2.9	-2.8	-3.4	-3.5	-3.6	-5.1	-4.3	-3.9	-3.4	-1.4	UN
[全国]出荷指数(季節調整値、10年=100)	97.1	96.8	95.7	96.4	94.5	96.0	96.1	97.7	99.0	99.1	99.3	104.4	103.4	103.2	UN
[全国]出荷指数(季節調整値、前月比)	1.6	-0.3	-1.1	0.7	-2.0	1.6	0.1	1.7	1.3	0.1	0.2	5.1	-1.0	-0.2	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、10年=100)	107.9	107.2	107.1	107.5	107.6	108.4	107.6	107.5	107.2	105.7	105.5	105.1	104.2	105.7	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、前月比)	-1.4	-0.6	-0.1	0.4	0.1	0.7	-0.7	-0.1	-0.3	-1.4	-0.2	-0.4	-0.9	1.4	UN
労働															
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比)	-1.4	-0.9	-0.3	-0.9	-2.4	-0.7	-0.6	-0.5	-0.5	-0.1	-0.6	-0.8	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比)	-1.1	-0.7	0.0	-0.6	-2.1	-1.3	-0.6	-0.5	-0.5	-0.2	-1.0	-0.5	-0.4	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比)	-0.8	-0.9	0.0	-0.1	0.6	0.1	-0.9	-0.2	-0.1	0.6	0.5	0.2	-0.1	0.7	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	5.0	4.7	4.2	4.4	4.2	3.8	4.3	4.1	4.6	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	UN
[関西]完全失業率(原数値)	5.0	4.9	4.3	4.4	4.1	3.8	4.4	4.1	4.7	3.9	3.6	4.2	4.3	4.4	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	4.3	4.1	4.1	4.1	3.9	3.8	4.1	4.0	4.0	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.37	1.37	1.37	1.37	1.46	1.41	1.41	1.42	1.51	1.48	1.58	1.56	1.63	1.62	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.35	1.39	1.40	1.42	1.49	1.46	1.47	1.50	1.59	1.56	1.64	1.63	1.67	1.66	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	0.81	0.83	0.85	0.86	0.88	0.89	0.90	0.89	0.91	0.94	0.96	0.98	1.00	1.00	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	0.85	0.86	0.89	0.90	0.92	0.94	0.95	0.95	0.98	1.00	1.03	1.04	1.05	1.07	UN
国際貿易															
[関西]純輸出(10億円)	-24.2	92.9	-78.0	-42.8	118.4	-123.2	7.1	-34.3	-112.4	-106.0	-77.0	-461.8	51.8	-110.9	-8.1
[関西]輸出(10億円)	1054.5	1311.3	1209.1	1216.6	1270.0	1242.9	1256.9	1254.4	1284.7	1242.3	1308.4	1087.7	1212.5	1351.7	1314.1
[関西]輸出(前年同月比)	-8.6	2.2	4.1	11.1	7.9	10.6	15.7	5.3	14.3	15.6	10.6	10.3	15.0	3.1	8.7
[関西]輸入(10億円)	1078.8	1218.4	1287.2	1259.4	1151.6	1366.0	1249.8	1288.7	1397.0	1348.3	1385.4	1548.3	1160.7	1462.6	1322.1
[関西]輸入(前年同月															

## Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
28-Apr 中国求人倍率 (1-3 月期)	29-Apr	30-Apr 毎月勤労統計 (3 月：速報値)	1-May 中国製造業 PMI (4 月)	2-May
5-May	6-May	7-May	8-May 中国輸出入 (4 月：速報値)	9-May
12-May 景気ウォッチャー調査 (4 月) 近畿鉱工業生産指数 (2 月速報)	13-May 公共工事前払保証額 統計 (3 月) 中国工業生産(4 月) 中国固定資産投資 (4 月) 中国消費小売総額 (4 月)	14-May	15-May 消費動向調査(4 月) 商業動態調査 (3 月確報)	16-May 毎月勤労統計 (3 月：確報値) 全国鉱工業生産指数 (3 月確報) 建設総合統計 (3 月)
19-May マンション契約率 (4 月)	20-May	21-May 近畿貿易統計 (4 月速報) 全国貿易統計 (4 月速報)	22-May 近畿鉱工業生産指数 (3 月確報)	23-May
26-May 近畿貿易統計 (4 月確速)	27-May	28-May	29-May 商業動態調査 (4 月速報) 全国貿易統計 (4 月確速)	30 May 求人倍率(3 月) 完全失業率(3 月) 新設住宅着工(4 月) 全国鉱工業生産指数 (4 月速報)